

# 大潟村連携教育を支える コミュニティ・スクールの推進

地域ぐるみで子どもの「学び」・「育ち」・「心」を支えます

未来を担う  
子どもたちのために

大潟村教育委員会

## 共有

目指す子ども像や  
学校運営の課題・目標を共有しました。



- 第1回学校運営協議会全体会**
  - ◆目標・ビジョンを共有  
こんな子どもに育ててほしい！  
こんな学校を創りたい！
  - ◆「あいさつ運動」と「ながら見守り」の実施を決定
- 第2回学校運営協議会全体会**
  - ◆各校園の学校運営の課題、改善策、次年度の方向性を共有

- 大潟村連携教育公開授業研究会に参加
- 保育・授業参観を通して、こども園から中学校までの子どもの育ちを共有



- 大潟村連携教育研究協議会に参加し、部会の代表が授業の感想を発表
- 子どもの成長の様子を先生たちと共有

## 熟議

子どもの成長について語り合ったり、  
課題解決を目指して意見交換したりしました。

- 「子どもたちに身に付けてほしい開拓者精神とは？」をテーマに熟議を実施
- 子どもたちに開拓者精神を身に付けるために、園・小学校・中学校・地域で、何ができるかを意見交換



可能性、挑戦、1UP  
失敗しても前に進める自信  
仲間、コミュニケーション力、  
地域とのつながり

好奇心  
自分を表現する力

負けず嫌い  
失敗を恐れず、困難に立ち向かう  
チャレンジ精神（勇気）

祖父母参観を  
実施しては？

保護者同士で熟議  
をしてみても？

### 子どもたちに身に付けてほしい開拓者精神とは？

自分で考え、行動する力  
(挑戦・あきらめない・やり遂げる)

新しい道を作るためのたくましさ  
(乗り越える強さ・協働・協調性)  
夢・志・目標→なりたいたい自分を描く

自分の身は、自分で守る  
(自分のことは自分でやる)  
大きな夢をもつ  
(夢ががんばる力になる)  
失敗を恐れずに挑戦する  
(立ち直れるたくましさ)

村の誕生を人形劇や  
絵本で園児に伝えら  
れないかな？

開拓者の話を聞く機  
会をもってみては？

- 参観後、付箋紙を用いて意見交換
- 各部会で学校運営の評価や改善策、次年度の方向性について協議



地域の花壇作業などに合わせて、  
園児の散歩を実施しては、  
地域の方たちとのよい交流の場  
になると思います。



道徳性を培うには、地域・家庭  
との連携が必要。  
道徳の教科書を見る機会があ  
ればと思います。



観光シーズン終了後に、菜の花ロ  
ードをクリーンアップしたり、盆  
踊り大会の運営等で青年会に協力  
したりできるのでは…

地域に貢献で  
きる活動はあ  
りますか？

**コミュニティ・スクール=学校運営協議会**  
を導入した学校です。大潟村では、24名の学  
校運営協議会の委員が、園・学校の心強い応  
援団として活動しています。



## 連携・協働

共有された目的・目標に向かって  
協力しました。

「あいさつ運動」と「ながら見守り」を実施  
子どもたちのあいさつで村を元気に！！

- ◆毎月第2月曜日 8:10~8:30 (こども園前8:20~8:50)
- ◆6箇所実施  
①こども園西側T字路 ②こども園前 ③小学校正門 ④中学校正門  
⑤北2-4から東3に渡る横断歩道 ⑥北一丁目から西3-4に渡る横断歩道



- 青年会が大中祭に協力  
新たな力が、学校行事をサポート

- 大中キラキラ塾スタート  
部活動休止日に、地域の方たち  
が学びを提供



絵画美術



短歌・川柳・俳句



百姓踊り



ボート



〈敬老会や大潟神社例大祭で披露〉

※他に、ミニテニス、バドミントン、  
箏、英会話を実施

## 来年度に向けて

- ①「あいさつ運動」と「ながら見守り」の継続実施
- ②教育課題解決のための熟議の実施
- ③地域住民・保護者への周知

## こども園部会

○成果 ▲課題

今年度の重点実践事項(課題)への取組と評価	学校運営協議会の意見
◎キラッと輝く大潟っこ ～かかわる力・たくましい心と体・豊かな感性を育てるために～ ・一人一人のよさを引き出し、育ちを支える保育を進めるために、子どもが遊びに向かおうとする姿から、キラッと輝く姿を見つけ記録を取る。一人一人の姿を読み取り、幼児理解につなげる。→一人一人に対してより良い支援のあり方を探り保育を進める。 ▲子どもの育ちを職員間で共有していくために園全体で「伝え合う」工夫が必要である。	①担任や担当だけでは見方が固執しがちになるのでたくさんの目で、子どもを多面的に見ていくことが大切。職員間で話し合いの時間の確保が難しいのであれば、共有のボード等に子どもの成長やその日の姿をメモしたものを貼り、みんなで共有するなどか。
◎子育ての支援 ・一時預かり保育事業及び子育て支援センターにおける在宅乳幼児の支援 →遊びの場の提供、保護者の交流の場としての活用、子育てサポーターの活用、地域保護者の需要に応じた支援 ▲少数であるが、利用が少ない方がいるので、働きかけの工夫をする。	②支援センターで月1回から2回行っているさくらんぼクラブのイベント写真を貼っていて、参加した親子はうれししいし、参加していない親子も次は参加してみたいと思うきっかけになるので良いと思う。
◎家庭・地域との関わり ・地域の人材・自然環境を活用した活動→はなしっこ、お茶会、県立大農場見学、ALTと遊ぼう、絵本の読み聞かせと図書の補修、祖父母畑ボランティア、生態系公園の活用等 ・講演会や体験活動 天王みどり学園の先生の講演(保護者向け) 栄養出前講座(園児向け) ▲おたよりや掲示物等で家庭や地域に情報発信していく。また、大潟村の豊かな環境を生かして、いろいろな人とのふれ合いをもつ体験を継続していく。	③「ながら見守り」 ・連絡を取り合って住区の花植えの際に園児が散歩に行くなどし、地域の方とふれあったり、村の行事を見たりする機会をもつのはどうか。 ④「元気なあいさつ」 ・来年度も年長さんが定期的にあいさつ運動ができればいいのでは。学校運営協議会委員のあいさつ運動も月2回にし、班に分かれて行ってほしい。 ⑤園児と会うことを楽しみにしている、今後も高齢者とのふれ合いを大事にしてほしい。片付けや身の回りのことなどについては、まずは家庭でつけることが大事だと思う。また小学校に向けて…ではなく、園で育てていきたいことを大切にほしい。ぜひPTA等で保護者に伝えてほしい。 ⑦家庭では、男らしく女らしくなど子どもへの思いがあり、とらわれがちになることもある。園では、一人一人の子どもとしてやりたいことを楽しめるように支えてほしい。 ⑧おたよりや広報(大潟)に、子どもたちのかわいい姿や成長の様子を載せてもらい見ることが出来て楽しい。

### 来年度の学校運営の方向性(案)

- 大潟村の乳幼児の健やかな成長のために  
大潟こども園の教育・保育目標、めざす子ども像の具現化のために保育の振り返りから子どもの成長を助け、職員全体が「ワンチーム」となり、子ども達を見守っていきます。
- 子育て支援  
子育て支援センターを生かし、さくらんぼクラブの活動を知らせながら、保護者の交流の場としての活用の工夫をしていきます。
- 家庭・地域との関わり  
おたよりや掲示物等で家庭や地域に情報発信していきます。また、大潟村の豊かな環境を生かして、いろいろな人とのふれ合いをもつ体験を継続していきます。園児の散歩を通して、地域の方との小さなふれあいを楽しみます。「元気なあいさつ運動」に取り組んでいきます。

## 小学校部会

今年度の重点実践事項(課題)への取組と評価	学校運営協議会の意見
◎「よく聞いて、考えて、伝え合う」子どもの姿を目指します。 ・子どもの声を生かした授業づくり(課題設定・まとめ) ・かかわり合い、伝え合うことを大切に授業づくり(展開・思考過程) ・「聞く・話す」ステップシートの活用と見取り(励まし・表彰等) ○全国学テ・県学テ等諸調査による学力の結果は良好であった。 ▲学テ意欲の面では学年による差がある。個に応じた対応を含めて授業づくりについては今後も努力・改善が必要。 ▲「話す・聞く」について、児童の自己評価は昨年度並み。特に「話す」については個人の特性を見取りながらレベルアップを目指したい。	①話すのが苦手な要素には、ずっと同じ仲間と改めて説明して話す必要がないこともあるのではないかと。他の小学校等との交流が必要かも。 ②自分を表現する必要性や人に伝えることを目指した課題などを与える。高学年児童のこども園での読み聞かせなどはどうか。 ③新聞記事を書くなど、書くことで最後まで伝えるという自信がもてるのでは。 ④家庭学習については様々な意見がある。宿題の在り方を保護者と話し合ってみては。 ⑤子どもは怒るとやる気がなくなる。親に対してアドバイスも必要。
◎何事にもあきらめずがんばりぬくたくましさ育てます。 ・日々の授業での取組・声かけ ・行事を通じた取組(運動会・マラソン大会・校外学習等) ・道徳教育の充実 ○体を動かすこと、学校行事への取組は良好。 ▲たくましさについての子ども自己評価は高いが大人の目から見るとそうでもない。 ▲規範意識の学年による差。	⑥開拓者精神を是非子どもたちに伝えてほしい。干拓博物館を利用する際、スライドなども見るとよい。 ⑦たくましさの自己評価が高く、大人とのギャップがあるのは目標設定の違い(子どもが低め? 親が高め?)があるからではないか。目標設定時に助言や対話が必要かもしれない。 ⑧規範意識についてはまずは家庭で教える。躰については家庭の協力も重要で、情報交換するとともに、PTAとしてもお願いする。
◎思いやりの心もち、明るいあいさつができる子どもを育てます。 ・あいさつ運動の推進(委員会ごと・関係機関や地域の協力) ・学級や集会活動での啓発、行事を通じた取組(校外学習等) ・道徳教育の充実 ○「あいさつ」については良い方向に向いている。 ▲「こんには」を含めたレベルアップを図りたい。 ▲「いじめ」については学年による意識の差が見られる。「いじめの起きにくい学校づくり」「早期発見・迅速対応」を心がけていく。	⑨子どものあいさつは良くなった。一人でいる時や学校外になると変わらないところもある。不審者対応との絡みもあり、村民と知らない人との線引きが難しい(特に低学年)。帰りに「こんには」と言えるかは今後の課題。大人が積極的に入っていくことで子どものあいさつが良くなる。 ⑩学校運営協議会委員のあいさつ運動(月1回)を、1か所の人数を減らして回数を増やすなどしてはどうか。 ⑪いじめに関しては、子どもたちから声があがった事が幸い。いじめについては隠さないことが肝要。個人情報に十分配慮して情報は出していく。

### 来年度の学校運営の方向性(案)

- 「授業改善」を進める→個に応じた対応を含め、成果と課題を踏まえて手立てを工夫していく
- 「規範意識」「たくましさの質」の向上を図る→家庭との情報交換を進めるとともに、家庭やPTAの協力も仰ぐ
- 「明るいあいさつ」「いじめの起きにくい学校づくり」に継続して取り組む  
→今年度の取組を見直ししながら、あいさつは地域全体として取り組む

## 中学校部会

○成果 ▲課題

今年度の重点実践事項(課題)への取組と評価	学校運営協議会の意見
◎毎月第1、3水曜日の「カジュアルター」(主体的・対話的で深い学び) ○諸調査の結果では県平均と同様の傾向 ▲対話の質の向上が課題 ◎「三つのわ(わくわく、わらい、わかる)」を重視した授業づくり ○保護者の9割が肯定的な評価 ▲一人の生徒も取り落とさない授業の継続 ◎部活動休止日を活用した「大中キラキラ塾」 ○地域の方々との交流、豊かな感性の涵養 ▲地域との連携の強化	①小学校で定着している学習習慣を基盤としながら、生徒の自主性や創意工夫を重視した家庭学習の在り方を検討してほしい。 ②通知表については、前期、後期別にするを継続する。先生方の業務量が増えないよう、記載する内容を精選してもよい。 ③テストの成績表は、定期テストと実力テストのねらいについて保護者に説明し、そのねらいに適した情報を記載してほしい。 ④大中キラキラ塾については、祖父母や地域の方々にも参加を呼び掛け、一緒に活動できるとより充実していくのではないかと。
◎「異年齢交流活動」の充実:こども園、小学校、敬老会、福祉施設との連携 ○諸調査では自己肯定感や自己有用感が、国、県平均を上回る→大きな成長 ◎「カジュアルタイム(昼の20分の長休み)」や「ストレッチ集会」 ○生徒の8割以上が楽しい時間と回答 ▲諸会議等の精選による確実な実施 ◎地域と連携したあいさつ運動や学校運営協議会委員による「ながら見守り」 ○気持ちのよいあいさつができる生徒の増加(保護者アンケート経年評価)	⑤村に残り、農業を受け継ごうとする子どもを育てることも必要である。郷土愛を育てる教育活動も大切にしてほしい。 ⑥郷土愛を育てるためには、農業のことを生徒達にもっと知ってもらわなければならない。パイオ等の地域の農業関連施設を活用した授業や農業関係者の話を聞く機会などを構想してほしい。 ⑦子どもと将来の大潟村の農業について語り合ってみよう。夢のような話でよいので子どもの考えを聞く機会を創ってほしい。 ⑧学校運営協議会委員による「ながら見守り」は継続したい。
◎外部人材を活用した各種教室の実施:「命の大切さ学習教室」など ○生徒の心が揺さぶられる機会、心情への共感 ▲教科指導時数の確保 ◎「自主的活動の時間」の設定と活用 ○諸調査による自己有用感の向上 ▲時間を守った活動、先を見通した計画 ◎地域の青年会、老人会、関係機関等との連携の推進 ○地域の方々との交流による地域への愛着 ▲地域に貢献できる機会の企画	⑨他者の心情に感情移入できない子どもが増えている。悲しみに共感できる「命の大切さ学習教室」は、是非継続してほしい。 ⑩地域に貢献できる活動(案) ・観光シーズン終了後の「菜の花ロードクリーンアップ作戦」 ・ひだまり苑における農福体験への参加(カボチャの受粉等) ・盆踊り大会における青年会への協力(太鼓、運営、踊り等) ・青年会による大中祭への協力やステージ発表への参加

### 来年度の学校運営の方向性(案)

- 令和3年度からの学習指導要領全面実施に向けた移行措置の確実な実施→意欲を引き出す評価(テスト、通知表等)や主体性を育てる家庭学習
- 学校運営協議会の応援による開かれた学校づくり→「大中キラキラ塾」の改善や「祖父母や地域住民が足を運べる学校」
- 大潟村の理解や郷土への愛着が高まる教育活動の重視→勤労体験学習や、総合学習を活用した「ふるさと学習」の充実
- 地域と共に活動し、地域を元気にする教育活動の推進→地域の関係機関と連携した奉仕活動や地域の行事への積極的な協力

### 地域から学ぶ



畑ボランティアさんと野菜苗植え



南部排水機場見学



野鳥観察

### 地域をつなぐ



福祉運動会でおじいさんおばあさんと交流



大潟村例大祭で手古舞を披露



歳末助け合い街頭募金

### 地域とともに考える



学校運営協議会全体会



部会





# 学ぶ

考える力、表現力、意欲的に学ぶ態度



## 今年度の重点

1.よく聞いて、考えて、  
伝え合う活動の充実



付箋を使って考えを伝え合う

2.読書活動の充実・発達段階  
に合わせた読書活動の工夫



絵本の模倣遊びをする園児たち

3.関わり合って学ぶ(遊ぶ)  
活動の充実



AIUとの交流で英語力アップ

## ◆成果

- 1 伝え合う活動
  - ・三校園で発達段階に合わせて伝え合う活動を継続的に行うことで一定の成果が出ました。学校運営協議会の方々からも評価を得ています。
- 2 読書活動
  - ・三校園とも読み聞かせが有効的でした。また、子どもたちの読み聞かせや読書の質が年々よくなってきています。村の充実した予算のおかげで様々なジャンルや学年に応じた図書を購入できるのも要因の一つになっています。
- 3 関わり合って学ぶ(遊ぶ)活動
  - ・授業時間でのペアやグループの関わり合いはもちろん、行事等の縦割り班活動、異学年交流、カジュアルタイムでの活動が充実していました。



「特別の教科 道徳」での伝え合い



図書ボランティアの読み聞かせ



学び班の先生方による協議

## ◆課題

- 1 伝え合う活動
  - ・学級や全体の場で堂々と話ができない子どもが多い
- 2 読書活動
  - ・読む本の内容の偏り
- 3 関わり合って学ぶ(遊ぶ)活動
  - ・話し合い活動の質の向上
  - ・「よい聞き手」を育てる必要性

## ◆来年度に向けて

来年度も3つの重点項目を継続します。

1の伝え合う活動については、家庭や学校運営協議会、地域と協力し、伝える活動や伝え合う活動の質を高めていきます。  
また、伝え合う活動や3の関わり合って学ぶ(遊ぶ)活動のためには、共感的な人間関係が基本となることを三校園の職員が共通理解しながら進めていきます。

# 育ち

規範意識、健康・安全意識、主体的な行動力

## 今年度の重点

1.体験的な活動を通した自己  
有用感や自己肯定感の育成



縦割り班でのなべっこ

2.体力の向上、柔軟性の改善：発達  
段階に応じた意図的・計画的な指導



秋の体育祭始めました

3.あいさつ運動の充実・地域との連携を  
図った心を込めた、あいさつ指導



学校運営協議会の委員と一緒にあいさつ運動

## ◆成果

- 1 自己有用感や自己肯定感の育成
  - ・意図的に体験的な遊びや活動を設定したり、活動の場や環境を整えたりしたことにより、子どもたちに達成感や自己有用感をもたせることができました。
- 2 体力の向上や柔軟性の改善
  - ・こども園では、年齢に合わせた運動遊びを実施しました。小学校では、外遊びの奨励や地域人材の活用を通して運動に取り組みました。中学校では、ストレッチ集会やカジュアルタイムの実施により、進んで体を動かす機会が増えました。
- 3 あいさつ運動
  - ・学校運営協議会の委員や地域の方々と連携したあいさつ運動を実施することで、あいさつの大切さに気付き、自らあいさつする姿が見られました。朝や帰りのあいさつだけでなく、「こんにちは運動」の広がりも見られました。



地域の方々の前で自信をもって

## ◆課題

- 1 自己有用感や自己肯定感の育成
  - ・向上しつつあるが個人差もあり、三校園で連携して長い目で見ていく必要あり
- 2 体力の向上や柔軟性の改善
  - ・進んで運動している子どもと、運動を好まず進んでいない子どもとの運動習慣の二極化
- 3 あいさつ運動
  - ・日常的にあいさつをする子とそうでない子の個人差



ランランタイム

## ◆来年度に向けて

- 1 自己有用感や自己肯定感の育成
  - ・各校園の交流活動を通して、主体的に活動する機会を設けて自分への自信をもたせたり、やればできるという気持ちを育てたりします。
  - ・活動後の認め合いの場を設けることにより、達成感や自己有用感の向上を図ります。
- 2 体力の向上や柔軟性の改善
  - ・「柔軟性」だけでなく「持久力」も育てます。
  - ・三校園で、外遊びや運動を奨励し、運動の習慣化に努めます。
- 3 あいさつ運動
  - ・学校運営協議会の委員や、園児・児童・生徒たちによるあいさつ運動の充実、家庭への啓発に努めます。



育ち班の先生方による協議

## 心

優しい心、たくましい心、ふるさとを愛する心



### 今年度の重点

#### 1. 「相互理解・寛容」「思いやり・親切」の重点化と実践



心情メーターで気持ちを表現

#### 2. 粘り強くやり遂げようとする体験活動の充実



5歳児の運動遊び・あきらめない心

#### 3. 地域との関わりを大切にした教育活動の推進



敬老会で百姓踊り披露

### ◆成果

#### 1 「相互理解・寛容」「思いやり・親切」

- 記録やカンファレンスで情報を共有化し、子ども一人一人の成長に生かすことができました。異学年で活動することにより、学年の壁を取り除きお互いに認め合う関係を構築することができました。

#### 2 粘り強くやり遂げようとする体験活動

- 異年齢で同じ行事に参加することにより、お互いの様子が伝わり、雰囲気を感じ取ることができました。憧れが、挑戦や頑張り、やり遂げる姿につながりました。

#### 3 地域との関わりを大切にした教育活動

- 地域の方を招いた交流活動を行ったり、指導者として招聘し学んだりすることができました。



異年齢との関わり・優しい心

### ◆課題

#### 1 「相互理解・寛容」「思いやり・親切」

- 小・中の「特別の教科 道徳」の授業の積み重ねの中で、一人一人の成長を見取る評価の工夫が必要である。

#### 2 粘り強くやり遂げようとする体験活動

- 異校種間の交流は双方向での活動が望ましい。連携のよさを生かし、交流による年上への憧れを、興味・関心、やり遂げる力につなげたい。

#### 3 地域との関わりを大切にした教育活動

- 地域の方との交流での、参加率の向上
- コミュニティ・スクールを活用した関わりへの深化
- 家庭や地域とさらに連携を深めることができるような計画の改善



ふるさと祭りでボランティア

### ◆来年度に向けて

今年度の課題を受けて、来年度の重点項目を次の3つにします。

#### ◆他者との関わりを重視した体験活動

- 1 「憧れの心」「思いやりの心」を大切にした交流の実践
- 2 見取り、伝え、認め合う教育活動の推進
- 3 地域に関わり、学び、つなげる体験活動の充実



心班の先生方による協議